

～初級から楽しく描こう～

第11期 楽しい水彩・パステル

【6月の活動報告】

6月12日(月) 水彩技法(2) いろいろな描き方 A、B

○水彩2日目。デッサン・水彩と習うことが増えるにつれ、持参道具も増えます。今日は小雨の中、重装備となり皆さん大変そうでした。

15分のデッサン後、午前の講義で水彩技法を、今日は特に筆以外の道具を使っての水彩技法と構図について。マスキングやガッシュのような専門道具からティッシュ・紙やすり・スポンジ・歯ブラシ・消しゴムなど、はたまた“塩”まで道具として利用出来ることを学びました。

(いろいろな道具を使っての足し算・引き算を、自分の工夫で“慣れる”ことが大事)

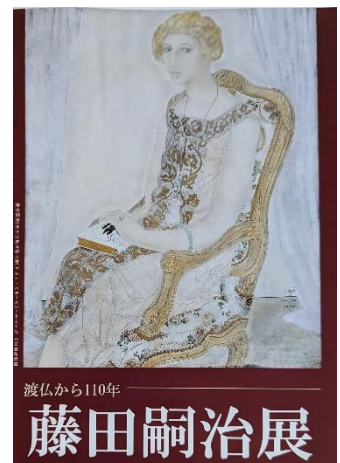
また構図について、さまざまな要素を調和の取れた一つの物にまとめること、時にはアレンジも必要。また、構図を決めるまで、静物は観察、風景は散策し、時間かけて見極めることが必要と学びました。(普段から訓練を)



○午後は土方先生による、筆以外の道具の使い方とそれがどのような味わいが出せるかを実演して頂き、使い方と特長を実際に見ることができ、大変有意義な時間でした。すぐ持参した道具を使い、実践しておられる受講生もおられました。

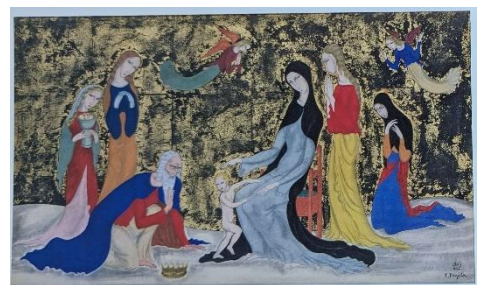
6月19日(月) 校外学習 「藤田嗣治展」(山王美術館)

○梅雨の合間の晴天のもと、校外学習で山王美術館に行って参りました。JR京橋駅西口に集合し、ホテルモンテレ前の美術館に、昨年9月移転オープンした綺麗な都会の美術館です。



○110年前にパリに渡り、ピカソ・モディリアーニ・キスリングら同時代の画家たちと交流を図る一方で、独自の画風を確立すべく研鑽を重ねた“藤田嗣治”。

サロン・ドートヌに出品した作品が「素晴らしき乳白色」と称賛を受け、パリ画壇の寵児とられた画家です。



鑑賞後の有志による昼食会も普段なかなか行けないツイン21で、楽しく情報交換できました。

6月26日(月) 水彩 静物(1) 鉛筆淡彩で描く(色彩について)

○午前の講義は、プロジェクターを使用した「作家と作品」で、いろいろな画家の作品を鑑賞しました。

デューラー、レンブラント、ジョンロバート、ターナー、ジャンマリー、セザンヌ等々画家達。動物、人物、静物、滝、水辺、河口、館、船、霧、雨はたまた夢までも図柄としての作品を、土方先生からのコメントを聞きながら見させていただきました。



○その後、講義と水張り実演を教えてくださいました。水彩は、使用する画用紙を水張りしないと、紙が波打ちまともに描くことができません。午後は、引き続き各自のレベルで、各自のモチーフで水彩にチャレンジしました。初心者から上級者まで、土方先生からレベルにあった丁寧な指導を受けることが出来ました。

